

## 声明

仏歴 2554 年(西暦 2011 年)4 月 20 日

### **ラオス政府に対して、サイヤブリダムの建設を止め メコン河流域 4 カ国合同委員会の決定に従い 流域諸国間の不和を回避するよう要請します。**

私たち、タイ 8 県メコン住民ネットワークは、ラオス政府によってメコン河本流で進んでいるサイヤブリダム建設計画が流域の生態系と下流 4 カ国に住む 6,000 万人を超える人びとの暮らしに及ぼす影響を憂慮することから、これまで一貫して、この計画の成り行きを注視し、反対の立場を表明してきました。私たちは、タイ国家メコン委員会(TNMC)が主催したタイでの協議会に参加し、東北タイでは 8 県の住民による民衆フォーラムを 5 度にわたって開催してきました。また、私たちは、タイ・ラオス両国の首相、タイ上院議員、東南アジア諸国連合(ASEAN)の政府間人権委員会に請願書を提出し、サイヤブリダム建設をめぐる判断が十全で、流域の人びとの幸福を視野に入れたものとなるよう、環境影響調査に関わる報告をすべて公開し、幅広い意見が聞け、さらに多彩な人びとが参加できる協議手続きが確立されるまで、サイヤブリダム建設をめぐる判断を延期するよう要求しました。

仏歴 2554 年(西暦 2011 年)4 月 19 日、ピエンチャンで、サイヤブリダム建設計画をめぐる決定を下すために 4 カ国合同委員会(JC)が開催されましたが、カンボジア、ラオス、タイ、ベトナム政府は、同建設計画の扱いに関して合意することができなかつたため、さらに上位の大臣レベルで判断を下すべきとの結論に達しました。

他の加盟 3 カ国政府がダムの影響、技術的な情報、とりわけ国境を越える影響への緩和策に対して懸念を示す一方で、ラオス政府は、手続きは完了したと言い張り、国境を越えた影響は発生せず、追加調査をするには(【訳注】協議手続きで定められた期間である)6 カ月以上の時間がかかり、すべての加盟国を満足させることはできないため、協議手続き期間の延長は必要ないとくりかえしています。また、工事がすでに開始されており、地元住民の移転が始まっているとの報道もあります。

つまり、ラオス政府は、メコン河の資源を共用している隣国の意見に耳を傾けるつもりはない、というかたくなな態度を示しているわけです。

私たち、タイ 8 県メコン住民ネットワークは、ラオス政府とチョー・カンチャーン社に対して、サイヤブリダムの建設工事を即座に停止し、4 月 19 日に開催された 4 カ国合同委員会の決定に従うことを要請します。

これは、メコン河流域 4 カ国の間での不和の発生を回避し、メコン河を共有財産とする流域の平和・生活・自然を守るためです。

私たちは、永遠に私たちのものであるメコン河に害をなす動きに反対するため、監視をはじめとする活動を続けていきます。

**タイ 8 県**  
**メコン住民ネットワーク**

(翻訳 土井利幸／メコン・ウォッチ)